



問 暮らしていくための村の施策は

答 種々の事業の展開により雇用の創出を図る

質問

人が暮らしていくのには、生活するための所得であり、環境であり、そこに魅力がなければ移住、定住することができないと考えるが、村としての具体策を伺う。

答弁(村長)

雇用創出のために、観光公社の設立、新たな事業を目指す企業型協力隊の募集など、種々の施策を計画している。本村が抱える大きな課題である空き家の対策も重要であり、昨年調査した結果をもとに、使用者、管理者との相談の上、活用可能な空き家については、移住希望者への貸出、田舎暮らし体験の住宅、東京都北区民との交流の拠点などに活用していく考えである。また定住を図るため分譲地の整備も必要な施策であり、今後力を入れ取り組んでい

答弁(企画課長)

貸して頂ける空き家は10軒ほどであるが、実際にすぐ住める空き家はごく限られているのが現状である。情報

問 教育環境について伺う

答 コミュニティスクール制度の導入も検討したい

質問

移住、定住を図るには受け入れるための整備、情報の発信が重要であると考えるが、現在使用可能な空き家は、また情報発信の現況は。

再質問

く。美しい景観、満天の星空、四季の移ろいを感じられる自然、安全で美味しい食べ物、穏やかな人柄、この様な地域の魅力が人を引き付けるのでは。今後、一つ一つ丁寧に取組んでいく。

質問

教育、道徳力の向上には子供達の生活環境の整備、改善が大切であり、そのためにも親の理解と協力が必要であると考えるが、昨今実施された村民こぞって教育を考える会において、父兄の出席が少ないように思うが、教育委員会として現状をどのよう捉えているのか、また今後の対策と施策は。

答弁(教育長)

子育てや教育の喫緊の問題として、就学前の教育、保育の総合的

に関しては、一時村のホームページ、インターネットで発信したが、持ち主の考え、借りる方にも様々な事情があり、一律の対応が

難しいところがあり、情報の出し方を検討しているところである。

再質問

昔から親の背中を見て子は育つと言われてきます。「鮫川村子供学習環境づくり宣言」に挨拶の必要性、大切さが謳われているが、現在、教育委員会を含め挨拶の状況は。

答弁(教育長)

全体的に低調であるかなと感じる。今後は「鮫川村子供環境づくり宣言」を、家庭、地域にも見える所に貼って頂き、村民全体で子供を育てると言う意識が良いのではと考える。



雇用の一翼を担う手まめ館



関根 英也 議員

問 公設民営の畜産業の振興と農地再生策を示せ

答 支援は継続するが、民間の力を発揮していただきたい

質問

先祖伝来の農地、特に水田の耕作放棄地の発生が年々増加の傾向にあり、農地の荒廃に歯止めをかけることは緊急の課題である。

国の平成28年度の農林予算や畜産対策の事業予算も大幅な増額が計上されている。これらの国の助成事業を活用し、最先端技術、WCSを利用した地域の特色ある公設民営での肉用牛繁殖施設を整備するべき。また村の経済

効果を高め、雇用の確保や農地の維持のため、畜産振興策が必要と思われるが所見を伺う。

答弁(村長)

国の農林水産振興の対策予算は土地改良関連事業と畜産関連事業を重点に多額の予算が配分された。また畜産経営が容易に参入できる環境が整いつつある、肉用牛繁殖施設を行政が建設する。また農家に貸し出すことは雇用創出、水田の有効



さらなる振興が期待される畜産業

利用、農地の活用など経済的な効果や農村景観も良くすることが期待できる。

埴町に国の助成事業を受けた100頭規模のモデル農場を建設し運営されている事例がある。

県内外の成功事例を参考に本村の特性に応じた施設及び規模など、多角的な視点で研究を重ねていく。

再質問

飼料米、WCS、牧草等への利用が増している水田、畜産農家がある集落では、デントコーン栽培などに有効利用され、阿武隈開発で作られた草地も景観保全や自然災害防止等を担っている。

有機の里づくりにも重要な役割がある。畜産が果たしている公益的、多面的機能に付いての考えを伺う。



助成金を導入した近隣町の畜産補助事業

答弁(村長)

畜産農家の持つ役割は本村では重要な産業のひとつである。多面的、広域的、循環型農業、農村景観を維持されているのも畜産の役割は大きい。今までも支援はしてきたが今後継続的な支援をしていく。

再質問

国県の支援事業が拡充している中、本村の畜産業の振興に絶好のチャンスが到来している。

農業振興と経済効

答弁(村長)

産学官の連携で村の農業、畜産振興を図れるとの提案だが、村主導ではなく、生産者4・5人集まり村に支援をお願いしていただきたい。公設民営でなく、民間の力をまず出してほしい、そこに支援していきたい。



問

村道関口世々麦線の拡幅、待避所を設置すべき

答

路盤調査を経て国交補助事業として整備促進する

質問

村道関口世々麦線は国道289号線から鹿角平観光牧場を經由し、国道349号に結ぶ1級村道である。近年は工事車輛や林業関係の大型車輛が頻繁に通過し、車輛の交差時に大きな支障をきたしている。これらの現状を踏まえ、この路線の拡幅や待避所を設置して通行車輛の安全を確保すべきと考えるが。

答弁(村長)

この路線は延長4kmの1級村道である。村では5年に一度の路面の陥没度合いなどの調査を行っている。この調査を平成29年度に実施したいと考えている。調査で路面の痛みが激しいと診断されれば、国庫補助事業として採択され、舗装改修事業が行われる。その事業に合わせて路肩部を拡幅整備する。



拡幅整備が待たれる村道関口世々麦線



問

村内公共トイレの整備と今後の計画を示せ

答

建設する用地が狭く、現在の建物の設置が限度

質問

きれいな村づくりには、きれいなトイレが必要な設備であり、通年利用できるトイレ設置は行政の責任でやつてもよいとの答弁をされているが。

答弁(村長)

公共トイレは、本来であれば道の駅のように、数多くの方が利用できる立派な公共トイレを建設できれば利用者にも不便をかけることはないが、建設する用地が狭いという事情があり、現在の建物の設置が限

度という状況である。

再質問

鹿角平観光牧場でキャンプをした際、一番近いトイレは管理棟1階部分にある和式トイレ。現代の生活事情は洋式トイレが多い為、観光施設の洋式化も合わせて整備を進めていく必要があるのでは。

答弁(村長)

和式トイレの洋式化はそれほど財源も必要ではない。管理棟に従事する方にも確認しながら対応させていただく。



通年利用可能な館山公園内の公共トイレ



前田 武久 議員

問 急を要する飲料水確保の支援をすべき

答 国県の補助金の付かない公共水道事業は実施しない

質問

震災以降の異常渇水により村内、特に河川上流に位置する青生野、東石地区は年々水源の低下により自家用井戸水、引き水による水道が枯渇し、生活水確保に困窮している。

以前から一般質問で求めてきた公共水道、村内一円網羅を計画的に推進すべき。また国県補助が期待できなくとも、村民の生命生活を第一優先とし、財政調整基金を取り崩しても着手すべきと思うが如何か。また村内7区の村水道の普及率を伺う。

答弁(村長)

寅平の水道拡張工事が平成34年までかかる。完了後に他地区は計画する。未普及地区10箇所あり、1地区に1億円がかかる。

各区の普及率は西野49.4%、西山48.5%、中野74.1%、東石17.4%、富田37%、渡瀬66.6%、青生野11.8%、村の平均の普及率は46.4%である。

再質問

財源が容易でないというが、財政調整基金はいくらあるのか。

答弁(村長)

8億8千万程である。

再質問

自家用井戸、引き水は地下水源の変動で枯渇し掘直し工事を余儀なくされているが、それも先行き補償されないか。

再質問

困窮している緊急事態に即応し、計画的に整備を図るべき。なぜ公平な行政体制ができないのか。

答弁(村長)

基金を使って整備すべきと言うのが水道事業は補助金が付くのでいつまでも待っている。また財政基金は万が一のために使う事で理解をいただきたい。

再質問

答弁はつじつまが合わない。8億8千万は何のために使うのか。

答弁(村長)

自家用水道などの補助金のつかない事業に使つ。

再質問

困惑している村民がいれば計画の見直しは我々議員も認める。広

答弁(村長)

畑地区に本管が埋設されているのに、なぜ周辺地区への延伸可能な工事が平成34年以降なのか。

問 村道の維持管理の推進を

答 国県に早めに申請する

質問

村道唐露葉貫線の沿線管理が不十分である。舗装工事の陳情採択はされているが、事業着手の見通しは。

再質問

未舗装地区の管理不十分と見受けたが現状を把握しているのか。

答弁(村長)

8月14日に現地を確認した。管理状態が悪く2回の管理を見直したい。

答弁(村長)

唐露側入口から民家までは村民が自主的作業で管理し、残り葉貫まで村直営でパトロー、路面の補修、草刈りを実施している。未舗装地区1.8kmは最低でも2億円の工事費がかかり補助金に頼らざるを得ない。村単独では困難である。早めに国県に申請し、改修を考

再質問

葉貫の頂上付近に森林管理署で道路通行止めの看板を掲げてあるが。

答弁(地域整備課長・村長)

8月には看板はなかった。管理はシルバーの委託事業で草刈り等を継続する。

(詳細は会議録を閲覧してください。)

議会改革よりも

常に村民の声を聞いているか

村議会は「村民に信頼される開かれた議会」を目標とし、今年6名の村民の皆様にも「議会モニター」を委嘱いたしました。モニターの皆様には定例議会の議会傍聴、議会に関するアンケートへの協力、議員との懇談会への参加を依頼し、感想やご意見、提言をお聞きし活発な議会運営に役立て、「分かりやすく村民に身近な議会づくり」を目指しています。

アンケートの記述集計「抜粋」

■議会に対しての第一印象は

- ・村を良くしようとする意欲を感じる。
- ・アンケート調査票は議会当日にいただけると明確な答えが出る。
- ・議員の顔は知ってるが、地元議員以外は話を聞く機会がない。議会は身近なものでなく、一般村民としては近寄りがたい。
- ・村民に信頼され、開かれた議会を目指していることは分かった。

■議会だよりへの感想は

- ・他町村の議会だよりより内容は良い。
- ・何が議会で話しをされているかが分かります。
- ・「議会だより」から「議員だより」的な発想はいかがか。各議員の村政に関する優先取組事項、各議員の政策、考え方や活動内容を掲載していただくと議員を身近に感じる。
- ・文字が多くとっつきにくい。地図に議案の箇所を記入してほしい。
- ・「追跡」は経過結果が分かり大変良い。

■議会傍聴の感想は

- ・良い発言の議員もいたが、くどいわからない発言も

感じられた。

- ・村長の答弁が長い。一般質問が長い。
- ・教育に関する件は議会答弁以外の議論が必要。

- ・教育行政は問題が起こらないことを目指すのか。大変消極的で残念。
- ・議会だよりで良く分かるように編集されているので傍聴しなくてもいいのでは。
- ・各議員は村民の思っている事を代表して話し合われていて議会の大切さを知ることができた。
- ・議員が同じことを何度も繰り返し発言し、早く次にすすめばいいと思った。
- ・各議員の質問をスケジュール化すべき。後半の議員の時間が流れによって制限されないように。やらなければならぬこと、やった方がよいことを区別して論議すべき。

■議会改革は必要ですか

- ・つねに改革は必要。

- ・多くの議案がスピーディに可決され驚いた。傍聴席が少なく傍聴者が多い時には対応が大変ではないか。

- ・議員の目標や目的意識が統一されていない。意思疎通が大きな推進力を生む。直接議員と交流がある村民の意見は議会に反映されやすいが、若者世帯は要望を議会、村政に反映させる術がない。

■議会や行政への意見・提言は

- ・議員の質問も村長の答弁も長すぎ。簡潔にしたほうが、傍聴人も聞きやすい。
- ・行政に対してだが本当に困った人に対しての要望を聞いてくれる所はどこなのか。
- ・地方創生予算は他町村はどんどん決まっているが村はどの事業を実現するのか。除雪費について業者と依頼側の関係が業者寄りと感じる。
- ・議会の意見交換会などいろんな世代が参加できるように設定してもらいたい。世代によつて意見や要望は様々である。次世代の村の担い手とどんどん意見交換し、高齢者世代の意見も取りまとめ、村政に反映してほしい。
- ・高校生の通学支援制度は多くの方が支援を受けられ良いことである。今後幅の広い支援を望む。

誰のためにあるの？

特集

議会は何のためにある？

2年前の学力調査の発表があったが、頭が良い



北條 美子さん

懇談会では、5名の議会モニターより貴重な意見・提言が出されました。終了予定時間を大幅に延長する等、活発な懇談が交わされました。



悪いは論ずることではない。地域として何ができるかを考えるべき。開かれた議会の意味がわからない。もっと村民が参加できる時間帯の設定が必要。議会の動画配信は長時間見ることができない。SNS配信は会

お世話になっっている議員が大勢いて心強い。モ



窪木 浩一さん

議会の第一印象はどの設問があったが、第一印象を優先することが必要なのか。議員の任期中にやり遂げる事を第一に考えることが必要であり、村民一人一人の意見を吸い上げる事が必要。緊急性、重要性、緊急でない、重要でない等優先順位を精査して政策と事業組み立てをすべきだ。議会傍聴のアンケートは傍聴時に配っていたいただきたい。



高橋 康治さん

社でも話題になっ

3月議会を傍聴させていただいた。厳粛な議会運営であると感じた。地元議員は大切な存在。今後もお世話になる。



長井 進さん

湯の田温泉の源泉の活用、富田小の屋体の活用、旧泰斗の利用、勿来浅川線の改良計画について利用促進が図られるようにお願いしたい。



蛭田 昌一さん

ニターとしてなかなか協力できずに心苦しい。今後は議会発展のために協力したい。

議会・議員の そこが知りたい

問

議員は1ヶ月にいくらの報酬で年収はいくらなのか。また地方議員の「政務調査費の不正請求」が大きな問題として報道されているが、村議会議員は「政務調査費」とやらを村に請求しているのか。

答

鮫川村議会議員の1ヶ月の報酬は16万1千円です。また6月、12月に支給される期末手当を含めると、1年に255万円の報酬が支給されます。地方議員の「政務調査費不正請求」が相次ぎ議員の倫理が問われていますが、鮫川村議会は「政務調査費」の支給制度はありません。必要な研修などの実費のみを支給することとしています。

追跡!

第5弾

過去の一般質問が行政に反映されているか、その後の経過を検証します。

どうなったっぺ? あの一般質問

質問・提言

農業後継者に限り奨学金全額免除制度を設けているが、医療看護や福祉従事者などへの対象範囲を広げるべき。

平成26年9月議会

答 弁

商工業後継者や医療看護従事者の拡大などを踏まえ、制度の制定を検討する。

経過及び結果

農業後継者に限り認められていた奨学金全額免除制度が見直され、医療看護従事者までを対象とした制度が、新たに制定された。



村施設の人材育成に活用される奨学金制度

質問・提言

高校生の通学においては、各保護者が毎日の送迎に苦慮している。保護者の現状を勘案し、負担軽減の支援策を講じるべきでは。

平成27年6月議会

答 弁

保護者負担軽減策として、村営バスの定期運賃半額補助を行っていたが、通学高校までの直接バス運行も含め、家族送迎の負担軽減化を検討する。

経過及び結果

子育て環境の向上および人材育成に役立つことを目的に、高等学校などに在学する生徒の保護者に通学支援金として月額1万円を支給。



さらなる利用が期待される「あおぞらバス」

質問・提言

村外からの訪問者に、各施設や集落の位置が分からないとの声を聞く。手まめ館等には、全村の案内板設置が必要では。

平成27年9月議会

答 弁

以前からの要望もあり、災害復興基金を活用して設置を計画する。また、既存の案内標識の設置効果を検証し、必要があれば設置する。

経過及び結果

手まめ館、及び役場玄関正面に『観光案内マップ』として村内施設や観光位置、ならびに特産品を紹介する総合案内板を設置した。



訪問者に優しい「観光案内マップ」

※定例議会での「一般質問」は議員の「政策提言」や、「村民の皆様の声」を村政に反映できる唯一の場となります。村の事業計画には慎重な検討が必要であり、費用対効果や予算措置の諸事情により時間を要する場合があります。

村民の広場

村民の皆さんに信頼され、身近な議会づくりを目指すために、子ども達をはじめとする村民の皆様に登場していただくページです。

私の夢シリーズ⑥

我妻 美空さん (鮫川中3年)

英語と韓国語を学び世界を 飛び回り社会貢献したい



- 大字西山字落合
- 我妻英樹さん、啓子さんの次女
- 鮫川中学校生徒会長として活躍中

私の将来の夢は、英語関係の仕事に就くことです。英語関係の仕事というのは通訳はもちろん英語の先生、外国企業で仕事をするなどです。だから英語はペラペラ話せる、書けるが当たり前です。そのためには、英検に挑戦することが一番の方法だと思います。

私は英検準2級を持っています。ですが高校生までには最低2級は取っておきたいと思っています。また日常生活で暇な時に英単語帳を見ることや、外国の映画や歌を積極的に見たり聞いたりすることも夢を叶えるための第一歩だと思います。ですが最近は英語教育が発達し、英語を話せる人はたくさんいます。だから英語関係の仕事に就くというのはとても大変なことだと思います。でも諦めないで英語を勉強したいです。

実はもうひとつ小さな夢があります。それは韓国語を話せるようになることです。私は韓国ドラマが好きです。K-POPも当然好きです。だからいつものように韓国語を聞いているので少しは話せます。でも、もっとペラペラ話したいので英語の勉強のあい間に韓国語の勉強もしたいと思っています。そして世界を飛び回り社会貢献できるような人になりたいです。

9月
定例会

傍聴者の皆さんの声

議会傍聴者からのアンケートへの集計結果 (記述文のみ)

■ 議員の発言内容はよくわかりましたか

- ・ 一般質問通告の質問要旨を傍聴者にも配布してもらいたい。
- ・ 一部の議員の一般質問の内容がよく分からなかった。
- ・ 再質問が分かりにくい。

■ 答弁者の発言内容はよくわかりましたか

- ・ 職員の答弁はより具体的で分かりやすかった。
- ・ 村長の答弁が細かすぎる。
- ・ 細やかに説明しているので、質問によっては過去の経過も分かって良かった。

■ 議会傍聴されて気付いた点がありますか

- ・ 水道、飲料水の課題は議会で扱うべき重要な問題と感じた。
- ・ もう少し傍聴者を増やす努力が必要である。
- ・ 生活住民の要望を、緊急性、重要性をもって要望する姿勢は嬉しい。

■ 議会全般についてご意見がありますか

- ・ 命の水の確保、整備について、緊急性をもって検討、提案をして欲しい。
- ・ 議会での質問者が多くて心強い。

ふるさと鮫川への想い シリーズ②

強滝散策に竹馬の友と

幼き自分がよみがえる

私は今年12月を迎えると67歳になります。よくぞ大きな病気もせず、元気でいま生きていることに感謝をしています。ふるさと鮫川

村を離れたのは昭和43年、今から50年前になります。高校を卒業するまでの18年間をふるさと鮫川村で過ごしてきました。暮らしに

◆プロフィール

【生年月日】 昭和24年12月11日
 昭和43年 学校法人石川高等学校卒業
 昭和47年 東洋大学経済学部卒業
 昭和43年 大蔵省入省 造幣局勤務
 昭和47年 東京信用金庫勤務
 平成26年 しんきん東京サービス勤務
 (現在に至る)

【家族】 妻、長男、二男
 【趣味】 演歌、野草観察



鈴木 幾久雄 さん
 (大字西山字馬場出身)
 埼玉県川越市在住

欲をかかない、ある物で賄う、と言う楽天的な考えも両親の農作業ぶりを見て自然に身に付いたものと思います。

農家の4男坊に生まれ宿命的に親元を離れなければならぬ故に上京しました。

実家は屈指の景勝地、強滝の終点で帰省の折りには強滝散策をしています。穏やかな川の流れ、また急流、白い水しぶき、滝ッポそれぞれに趣があり、凝視しているところで水遊びした竹馬の友の姿と自分がよみがえってきます。

また時折黒い色の小鳥、カワガラスを発見、この場所でも何年も世代を継ぎ元気に生きている姿に感動せずにはいられません。実家には90歳を過ぎた母を筆頭に3世代8人家族ですが、高齢の母を何不自由なく面倒看している義姉さんには感謝をしています。

自給米を生産している甥も勤めが休みの日の農作業

が楽しいと、これも嬉しいです。

さて上京後の形跡ですが大蔵省に初級国家公務員で入省、造幣局で貨幣製造計画等の立案業務を担当、その後、銀行業界に転じ定年退職しました。縁があつて今は信用金庫関連の会社で嘱託で働いていますが、蓄財は不得手です。多様な接点で多くの友という財産を持つことができました。



東京鮫川会での同級生に囲まれて

議会だより全国1位 山形県川西町を視察

山形県川西町は「議会だより最優秀賞」を2年連続で受賞していることから、全議員による視察研修をさせていただきました。全国1位に輝く川西町議会には、議会だよりは勿論、議会活動も活発であり意義ある研修となりました。



編集への情熱が伝る編集委員の説明

編集後記

つやかな炊きあがりと香り豊かな新米を味わい、厳しい冬がくる前にけなげに咲く秋の花の美しさに心奪われるのは、土を耕し、タネを撒き、心も耕してきたあなたへ大地からの贈り物です。

今年も穏やかに秋空に舞う赤トンボの群れを見上げ、調べのように澄んだ鈴虫の鳴く声を聞けるでしょう。この光景を次世代の子供たちに残してあげたい。絶望の淵からでなく、希望の光射す丘の上から見せてあげたい。私たちは未来から譲られた宿題の問いにどう立ち向かうのか否が応でも答えなければならぬ。吹く風に季節を感じながら改めて思う。誰にとってもかけがえのない古里なのだ。(編集委員)